

フキ指導案

チーム四小

青 梅 第 四 小 学 校
授 業 改 善
つ く し

11月11日(水)2時間目

国語科 さとうとしお (④/⑤)

本時のねらい

主語と述語に着目して読み取ることを通して、内容の大体を捉えることができる。

本時のみどころ

♡観点の最後、三点めの段落です。「問い」に対する「答え」の文の構造については、少し見通しがもつことができる頃だと予想します。「しょくぶつ」という言葉や、海の水に塩分が含まれていることを知らない児童もいると思われます。自分の知っていることや分かったことを伝え合いながら児童が主体的に参加できる授業を展開していきます。

♡集中して最大30分弱まで頑張れる子供たちです。後半は一斉指導を終えて各自が個別課題をする時間にしています。

展開

段階	学習活動	指導・支援 (○) 評価 (☆)
導入	1. めあての確認をする。 さとうとしおのちがいを みつけよう。	
展開	2 音読をする。 3 「問い」「答え」の文をさがす。 「何についてどうでしょう。」と書かれていますか。 4 さとうとしおの違いを読み取る。 5 原料からさとうが作られる動画資料を見て、知っていることや分かったことを伝え合う。 さとうとしおについて 知っていることや分かったことをつたえよう。	○文字を指で追いながら教師と一緒に音読をする。 ○「問い」の文に赤シールを貼らせる。その後、観点（何からできるのかの違い）を確認する。 ○「～は～です。」の主語と述語に着目し、さとうとしおの文にシールで印を付けることで、読み取りやすくさせる。 ○読み取ったことを表に教師が書いていく。 ☆自分の経験からさとうとしおについて知っていることを伝えようとしている。
まとめ	6 本時のめあてを振り返る。 7 次回の学習についての見通しをもつ。 8 個別課題に取り組む。	○介護員とあらかじめ分担してサポートする。